

- ◇ 消息披露・公聴会 □ 1
- 阿弥陀さまと私 □ 2
- 新・祖蹟点描 □ 3
- 青色青光 □ 4
- お寺でエモーション □ 6
- 教区・別院昨年度決算 □ 9
- 響流十方 □ 10
- つれもて聴こら □ 12



「紀伊国名所図会」に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊

2017年(平成29年)
10月20日
第114号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 電話(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

鷺森別院で消息披露

伝灯奉告法要円成、お心を教区へ

宗派総局が巡回

5月31日の伝灯奉告法要ご満座に際し専如門主がご消息を発布されたのを受け、そのお心を伝えようと、浄土真宗本願寺派総局(宗門の宗務を執行する機関)が全国の各教区を巡回する「伝灯奉告法要御満座のご消息披露」が9月11日、鷺森別院本堂で行われた。教区内から各役職者、住職、門徒など95人が参加。披露式典では、山階昭雄

総務がご消息を拝読し、中岡順忍教務所長が拝受。山階総務はご消息のお言葉を引きながら、「ご教示は、これからの時代に生きる私たち念仏者の基本であり、まことに懇篤にして尊いお言葉と申さなければなりません。今後このお諭しを肝に銘じ、宗門に集う皆さまのご理解ご協力を頂きながら、心を一つにして、力を尽くしてまいりたいと存じ



ご消息を拝読する山階総務(手前は中岡教務所長)

活発な意見がでた公聴会



ます」と述べた。続けて深水健司特命布教講師が法話(12面に要旨)。

公聴会で過疎の現状理解を要望

併せて行われた公聴会では、伝灯奉告法要初日のご親教「念仏者の生き方」について学びを深めるため、宗派出向者が要点を説明。仏教徒・念仏者の「平和貢献策案」として、①合掌のすすめ②経済格差・貧困

の克服へ③美しい沖縄から平和へのメッセージを④自死問題を通じて、東アジアの相互対話と信頼の醸成をという4点が提示された。協議では、①災害対策金庫の新たな原資②実践運動総合基本計画・重点プロジェクトの改定③10年、20年後の日本社会で求められる僧侶像・寺院像について資料をもとに活発な意見交換

参加者からは「総局には深刻な過疎問題に直面している和歌山教区の現状を深く理解していただき、重要課題については、各教区の実情に基づいた的確な施策を計画立案してほしい」との強い要望が出された。

これに対し山階総務は「過疎対策委員の配置を第一歩として、これからもご意見を頂き、その声を少しでも宗務に反映したい」と、今後の方向性を述べた。

おまちハイパーイベントにぎわう

⑥⑦⑧面に詳報

阿弥陀さま

ハウツー仏事

と私

喜びを縁とする

る仏事の続きとして、初参式について述べます。

⑬ 初参式

初参式とは、子どもの誕生を喜びお寺の本堂に初めてお参りする際に、家族そろってご本尊の阿弥陀さまに手を合わせ、浄土真宗のみ教えに触れていただく儀式です。

その意義については『浄土真宗必携 み教えと歩む』(本願寺出版社)には、

「初参式は、新しいのちをめぐまれたよろこびを縁として、ご家族やご縁のある方がたが、そろってお寺にお参りをし、阿弥陀如来の前で、親も子どもにもそのお慈悲のなかに包まれているということに対し

て、感謝の気持ちから行う儀式です」と、分かりやすく

“ほとけの子”誕生祝い 家族も大切な仏縁頂く

く説明されています。浄土真宗における初参式は、単にお子さんの健やかな成長を願って行われるものではありません。すべての仏事と同様、その根本は、阿弥陀如来のおこころを聞かせていただく——という点にあります。私たちは、この世に誕生

してから浄土に往生させていただくまで、ずっと阿弥陀さまのお慈悲に包まれ育まれています。人生に何が起きたとしても、阿弥陀さまは決して変わることなく私たちの命を支えてくださっています。その理を聞いて力強く人生を歩んでほ

しいとの願いを込めて執り行われるのです。初参式では、昭和61年(1986)に当時のご門主である第24代即如門主(現・前門さま)が發布された「初参式についての消息」を拝読します。その一節に「ほとけの子

本堂に初めてお参り



赤ちゃんを抱いて焼香(鷲森別院の初参式)

初参式についての消息

人間として この世に生を受けることは 喜びをめぐまれたよろこびを縁として、ご家族やご縁のある方がたが、そろってお寺にお参りをし、阿弥陀如来の前で、親も子どもにもそのお慈悲のなかに包まれているということに対し、く説明されています。浄土真宗における初参式は、単にお子さんの健やかな成長を願って行われるものではありません。すべての仏事と同様、その根本は、阿弥陀如来のおこころを聞かせていただく——という点にあります。私たちは、この世に誕生してから浄土に往生させていただくまで、ずっと阿弥陀さまのお慈悲に包まれ育まれています。人生に何が起きたとしても、阿弥陀さまは決して変わることなく私たちの命を支えてくださっています。その理を聞いて力強く人生を歩んでほしいとの願いを込めて執り行われるのです。初参式では、昭和61年(1986)に当時のご門主である第24代即如門主(現・前門さま)が發布された「初参式についての消息」を拝読します。その一節に「ほとけの子人間として この世に生を受けることは 喜びをめぐまれたよろこびを縁として、ご家族やご縁のある方がたが、そろってお寺にお参りをし、阿弥陀如来の前で、親も子どもにもそのお慈悲のなかに包まれているということに対し、く説明されています。浄土真宗における初参式は、単にお子さんの健やかな成長を願って行われるものではありません。すべての仏事と同様、その根本は、阿弥陀如来のおこころを聞かせていただく——という点にあります。私たちは、この世に誕生してから浄土に往生させていただくまで、ずっと阿弥陀さまのお慈悲に包まれ育まれています。人生に何が起きたとしても、阿弥陀さまは決して変わることなく私たちの命を支えてくださっています。その理を聞いて力強く人生を歩んでほしいとの願いを込めて執り行われるのです。初参式では、昭和61年(1986)に当時のご門主である第24代即如門主(現・前門さま)が發布された「初参式についての消息」を拝読します。その一節に「ほとけの子

昭和六十一年五月二十一日

龍谷門主 釈 即 如

の誕生は 家族の方々の尊い仏縁であります」というお言葉があります。お子さんは「必ずほとけになってくれよ」と、阿弥陀さまに願われている命です。「子

ラジオ放送番組
みほとけとともに
 - 西本願寺の時間 -

◆毎週土曜日 午前5時50分から
 - 和歌山放送 (WBS) -

和歌山・串本	1431kHz
田辺・すさみ	1233kHz
橋本・高野山	1485kHz
新宮・御坊	1577kHz

は仏さまからの預かりもの」とも言われますが、尊い命を預かることになったご家族には、これを仏縁として、いよいよ仏法聴聞に心掛けていただきたいものです。式の流れは①一同着席②住職入堂着座③お勤め(讃仏偈、らいはいのうたなど)④「初参式についての消息」拝読⑤法話(お祝いの言葉)。終了後は記念品授与、記念撮影など。詳しくは所属寺院までご相談を。(松本教習・「御問朋の社会をめぐらす運動」和歌山教区委員長)

新 祖蹟点描

16 比叡山 青龍寺①

若き親鸞聖人(範宴)が比叡山において堂僧を務めながら勉学と行に打ち込んでいる間に、時代はさらなる転変を見せていた。

親鸞聖人が出家・得度された年(1181)の閏2月に平氏一門の総帥である平清盛が病没したことはすでに述べた。大黒柱を失った平氏の衰退はいかんともしがたく、4年後の1185年(文治1)、壇ノ浦に滅ぶのである。

親鸞聖人が数えて20歳になられた1192年(建久3)3月には、長きにわた

り政治の中心にあった後白河法皇が没する。後白河といえは、武士が政治の世界に進出するきっかけとなった保元の乱(1156)の前年に天皇となり、乱後すぐに譲位して院政を開始。それから34年もの間、動乱の渦中を生きた人物だった。

これにより新たに政治の中枢を占めたのは、後鳥羽天皇と、そのもとで政務を執り行う関白九条兼実、そして7月に征夷大將軍に任ぜられた源頼朝だった。鎌倉時代の幕開けである。

政治状況の変化はさすがに比叡山にも影響を及ぼす。同じ年の11月、九条兼実の弟である慈円(慈鎮和尚)が、38歳で天台宗の最高職「座主」に初めて補任されているのである。

武土政権の成立と慈円の栄達。親鸞聖人はこれらをどうご覧になられたのか。

今や比叡山は、ある面から見れば貴族社会の縮図の様相を呈し、天台宗そのものも、すでに993年(正暦4)に山門(延暦寺)と寺門(園城寺)に分裂、両門は源平の争乱に乗じて激しく争っていた。

法然房源空聖人隠遁の地



比叡山五別所の一つ、黒谷の青龍寺

(11214ころ)という大学者があったが、研究に没頭するあまり、源平の争乱を知らなかったという。

親鸞聖人の生涯の師となる法然聖人(1133~1212)もまた、求道心篤く、真実の道を求め続けた僧の一人であった。

法然聖人は、親鸞聖人よりちょうど40歳年長。1133年(長承2)、現在の岡山県久米郡久米南町の土豪の家に生れた。父はこの

地(11214ころ)という大学者があったが、研究に没頭するあまり、源平の争乱を知らなかったという。

親鸞聖人の生涯の師となる法然聖人(1133~1212)もまた、求道心篤く、真実の道を求め続けた僧の一人であった。

法然聖人は、親鸞聖人よりちょうど40歳年長。1133年(長承2)、現在の岡山県久米郡久米南町の土豪の家に生れた。父はこの

比叡山 青龍寺

場所 滋賀県大津市坂本本町4-2-20
電話077(5)780000(1代)

交通 京都駅でJR湖西線に乗り換え13分、「比叡山坂本」駅下車、同駅前から江若バス・ケーブル坂本線で7分、「ケーブル坂本」駅下車、坂本ケーブルに乗り換え11分、「ケーブル延暦寺」駅下車、徒歩1時間。

地(11214ころ)という大学者があったが、研究に没頭するあまり、源平の争乱を知らなかったという。

親鸞聖人の生涯の師となる法然聖人(1133~1212)もまた、求道心篤く、真実の道を求め続けた僧の一人であった。

法然聖人は、親鸞聖人よりちょうど40歳年長。1133年(長承2)、現在の岡山県久米郡久米南町の土豪の家に生れた。父はこの

(本紙編集部)

和歌山教区

「非戦・平和」への願い伝える

7月9日に恒例の全戦没者追悼法要

「御同朋の社会をめざす運動」(実践運動)和歌山教区委員会は、7月9日



鷺森別院本堂で追悼法要を勤修

青色青光

戦争の悲惨さ 後世に語り継ぐ



非戦平和を訴える大賀正行さん

内僧侶・門徒ら250人が参加した。

午後1時30分からの集いは、教区内14組から1人ずつ選出された代表者による献灯献花に始まり、全戦没者追悼法要をお勤めした。中岡順忍教務所長は法要の

鷺森テレホン法話 073-422-0243

こころの電話 (海南組西光寺) TEL(073) 487-2430 ヤングこころの電話 (同上) TEL(073) 487-0404 こころの電話 (御坊組専福寺) TEL(0738) 44-0874

表白で、「私たち念仏者は、仏法の名において戦争に積極的に加担していった過去の事実をあらためて仏祖の御前に慚愧せずにはおれません。この法要に際して、親鸞聖人の願われた『世の中安穩なれ 仏法ひろまれ』とのお心を体して、戦争で亡くなられたすべての方々を追悼いたします」と趣旨を述べ、参加者一同が正信偈をお勤めした。その後、和歌山教区内の寺族女性で構成されているコープスグループ「かりょうびんが鷺森」が仏教讃歌『阿弥陀仏の御名をきき』などを披露。

結成30周年記念祝賀会開く

和歌山教区寺族青年連盟

和歌山教区寺族青年連盟は今年、結成30周年を迎え、記念イベントとして10月1日に鷺森別院で「お寺でエモーション」(6~8面詳報)を開催した。同日午後6時30分からは、アンドレギュウム(和歌山市元寺町)で記念祝賀会を開催。祝賀会には「お寺でエモーション」に出演した釈徹宗師やおまけびとをはじめ、教区内の役職者、同連盟OB、現会員ら36人が参加。

開会に当たりあいさつに立った小川眞史委員長は、

続いて、大賀正行さん(一般社団法人和歌山人権研究所顧問)が記念講演。「私と和歌山(大空襲と「秋月」のこと)」と題して、自身が7歳のときに体験した昭和20年7月9日の和歌山大空襲の惨状と戦争の悲惨さを語り、非戦平和に参加者に訴えた。

2017年度からの寺青役員

- ▼委員長 小川眞史(和歌山西組松専寺) ▼副委員長 和田慈仁(和歌山組真光寺)、荻野龍裕(海南組浄國寺) ▼会計 辻本真一朗(和歌山組西念寺) ▼監査 杉山龍法(和歌山組永正寺)、宇多真海(伊那組光明寺) ▼委員 山本龍法(和歌山北組浄永寺)、廣田聡美(和歌山西組安楽寺)、河野法俊(和歌山北組善教寺)、谷口寿博(加茂組安養寺)、平林唯香(有田南組福蔵寺)、佐々木紀彦(有田北組教念寺)、桒崎教信(日高組覚性寺)、楠山和也(御坊組浄専寺)、佐々木実結(紀南組専光寺) ※敬称略 任期は2017年4月1日~2019年3月31日。

青色青光

過疎地域の2カ寺で法座開催

教区布教団が7月に「紀南開教布教」二行

和歌山教区布教団では7月27日、「紀南開教布教」を行った。これは過疎対策

大切なお聴聞の場 残したい



ご門徒らの正信偈が本堂に響く(紀南組西法寺)

講し、現状を視察することにも法座を開いているもの。この日は、午前中に紀南組西法寺(東牟婁郡串本町)、午後からは同組妙福寺(東牟婁郡串本町)で法座を開催。両寺院は、い



出講した伊井智雄師

れも過疎地域に属しており、任職不在で長く後継者のめども立たないままご門徒だけで護持されている。これらのお寺を支えるご

門徒らは法座の開催を大変楽しみにしており、両寺院合わせて約50人が参拝。この日出講した和歌山教区布教団役員の伊井智雄師(本願寺派布教使、和歌市雑賀崎・極楽寺任職)の法話に聞き入った。

また、紀南組では、過疎化に対応する取り組みを重点プロジェクトの実践目

標に掲げており、現地視察も兼ねて組内僧侶がこの法座開催に参画。開会時の勤行では紀南組の僧侶が雅楽を演奏し出勤、寺院子弟の小学生が調声して「正信念仏偈」を勤めるなどにぎやかに勤めた。

僧侶が先頭に立ち聴聞

有田北組で門信徒研修会
有田北組では7月29日、教蓮寺(有田郡有田川町上中島)を会場に門信徒研修会を開催。組内の僧侶・門徒ら64人が参加した。

この研修会は同組が重点プロジェクトとして掲げる「任職・寺族が先頭に立ちご門徒に聴聞の姿を示す」

『連研ノートE』の活用促す

鷺森別院で2年ぶりに研究会



研さんを深める参加者

8月31日、「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会では、門信徒教化部会が担当し、鷺森別院で「連研のための研究会」を開催した。組長をはじめ組連研担当者や門徒推進員など47人が参加。

2015年10月に行われた同様の研究会は、『連研ノートE』の内容の周知と普及を図るため開催。

という実践目標の達成を目指すもの。

ご門徒らのライフスタイルや価値観が多様化するなかで、それに合わせて聴聞の機会を広げていくという狙いもある。

研修では、伊井智雄師(本願寺派布教使)が「浄土真宗のみ教え」と題して講義を行い、参加者は熱心に聴き入った。

今回は、石崎博敏師(連研中央講師、堺市・大圓寺)が出講し、組連研のスタッフを主な対象として講義。前半は、ご親教「念仏者の生き方」について解説しながら、「連研の意義」連研の実施を通してめざすものとは何かの題で、後半は「連研の進め方」連研ノートEについて一題で話した。

参加者らは、「念仏者の生き方」について学びを深めるとともに、『連研ノートE』を使用して受講者と課題を共有できる組連研を目指し、研さんを深めた。

お寺は老いも若きも共にみ教えを聞き、感じる場所……。そんなお寺の本来の姿をイメージしながら、特に「感じる」ことに焦点を当てたイベントを10月1日に鷺森別院本堂で開催。名付けて「お寺でエモーション」くなるコトバ わらえるコトバ ひびくコトバ。若い方やご縁のなかった方にもお寺で心揺さぶられる体験をしてほしいとの願いに応え、県内外から290人が参加。新感覚の法座を築んだ。

このイベントは、和歌山教区寺族青年連盟(小川眞史委員長)の結成30周年を記念し、同連盟が企画したもの。NHKニュース5時「悩み相談・汐護寺」でもおなじみの釈徹宗師(相愛大学教授)をメインスピーカーに迎え、同師の基調講演(8面に要旨)、LIFE SONGSプロジェクトの弾き語り、安徳剛典師の節談説教、おまげびとの仏教讃歌ロックと多彩なプログラムを用意。合間には、MCとして進行も務めた釈師と廣田聡美さん(同連盟委員)が出演者から話を引き出し、会場をなごませた。

お寺で心揺さぶられる体験

別院本堂で290人が楽しむ

歌や節に乗せ…み教え「感じる」法座



池長智裕実行委員長あいさつ

発言採録

池長智裕(実行委員長) 皆さまこんにちは。ようこそ「お寺にエモーション」にお越しくださいました。音楽に乗せてのご説法や節談説教は、和歌山ではあまり聴く機会がないと思いますが、初めてお寺に参る方や若い方々にも楽しんでいただけたらと思うので企画いたしました。

で、いい先生がおられると思っ、大阪の釈徹宗先生をメインスピーカーとしてお招きすることになりました。先生、今日はお忙しいところありますがどうですか。

釈徹宗 何をおっしゃいますやら。こんな楽しい企画でしたら喜んで。(釈徹宗師の基調講演、LIFE SONGSプロジェクトの演奏とトーク)

釈 歌と語りのスタイルが、個人的には興味深いと思いました。いつもこのス



進行役を務めた釈徹宗師と廣田聡美さん

タイムでやっていると、奥田(章吾) そうですね。アーティストには歌う前になぜこの曲を選んだか語っていただいて。そのあとに普段は3、4人のアーティストに歌っていただいているから、僧侶が入って対話する時間を取らせていただいております。

釈 基本的に「いのち」がテーマなんです。奥田 いのちや人生をテーマにして、今日のように「人生最後に聴きたい曲」とか、具体的テーマを



佐藤知水さんと河野雅樹さんによるロックバンド「おまげびと」。オリジナル曲『若坊守の歌』など3曲と「頼まれてもいいのに」作った『お寺でエモーションのテーマ』を披露。ノリのいい曲調に会場が沸いた

毎回設定しております。釈 私は、認知症の方の共同生活の家というのをNPOで運営しています。認知症の方とはなかなか距離が縮まらないんですが、歌ったり楽器される人は、一瞬で距離を詰めたりする。そういう姿を見てると、うらやましいと思うんですね。及川(良生) 例えはですが、全く知らない人と初対面るときにギターを持ってたら何か曲をやったりとか。釈 そうそう、全然友達

でもないのに、セッションが始まったりとか…。(安徳剛典師の節談説教) 釈 どういう経緯で節談をされるようになったんでしょうか。

安徳剛典 私は龍谷大学を出ましてから、5年間サラリーマンをしておりまして。僧侶の世界に戻ってきましたからは、まず勉強をしました。何とか浄土真宗の教えを理解しようと、いろんなお説教も聴聞して

いました。あるとき節談を聴かせていただいて、頭で理解するというより、感情を揺さぶられるという感じが、分かったわけじゃないけれども、有り難かったなあとというのがありました。釈 自分でされても節談の気持ちよさってあるんじゃないですか。安徳 気持ちよくないと言えはうそになります。釈 そうですよ。因縁話のストーリーに入ったらやっぱり皆さんぐっと引き込まれていく。そこで節をかける気持ちよさというのは、節談される方、皆さんがこっそりと思っておられる…。有り難いお説教をありがとうございます。

(おまげびとの演奏) 釈 お二人のユニットは20年以上続いているということですが、もともとの出だしはどうだったんですか。佐藤知水 僧侶になる研修が京都の西山別院でありまして、同じ班だったんですが、二人とも大槻ケンヂさんのファンということで意気投合しまして、今までやってこれました。釈 例えば、また会える世界がありますよって、単

に言葉で聞くよりも、音楽のほうがリアルに伝わった感じが…。廣田 あるように感じますね。釈 お話したとしくいことが、歌だと思いつてできるという面もあるんじゃないですか。佐藤 自分の人生観とか、悩みとか、歌に込められるというのがあると思います。釈 歌詞も曲もお二人の創作なんですか。河野雅樹 佐藤知水君が作詞、私が作曲、役割分担で作っております。釈 いいコンビですね。もう一度、大きな拍手を。(まとめ) 廣田 今日のプログラム、すべて終ってしまいました。が、先生どうでしたか。釈 皆さん個性豊かな表現をされたあと、きっちり「合法」といって、仏法に着地させるという取り組みをされるのが興味深かったですし、有り難いなあと思いました。廣田さん、いかがでしたか。

廣田 このてらエモは、実は2年ぐらいかけて準備してきたものでして、後ろに赤いTシャツを着たスタッフの皆さんと、他にもたくさんの方に支援いただきました。開催することができました。釈 だいたいエモーションがテーマになったのはどういうわけなんでしょう。廣田 私も最初は知らなかったんですけど、若者言葉で「エモい」という言葉があるの聞きまして。釈 エモい? 廣田 エモーションから取って、「今日のライブ、エモかったね」とか、感動したという意味で使っらしているんです。釈 なるほど。今後はどのような活動を。廣田 これからも、もっとたくさん一般の方々、これまでお寺にご縁のなかった方にもお寺に足を運んでいただけるようになればなあと思っております。釈 そうですか。それはそれは、これからの活動も楽しみにしております。廣田 皆さん本日はお越しいただき、まことにありがとうございました。また、てらエモでお会いできる日を楽しみにしております。

教区寺族青年連盟30周年を記念し "てらエモ" 合言葉に 教区内若手僧侶が企画



安徳剛典さんの節談説教。「阿彌陀さまのお慈悲に出遇うと、自分中心に生きる悲しさ苦しさに気付かされます」。和歌山県出身の芸術家保田龍門と母親のエピソードを織り交ぜ、時折独特の節回しを入れて語った



釈徹宗

大阪府池田市・如来寺住職
相愛大学人文学部教授
近著に『ブツダの伝道者たち』(角川選書)など

「お寺でエモーション」というタイトルを聞いて、若い僧侶の方々は面白いことを考えるなあと思いましたが、「エモーション」は日本語で「情動」と訳されます。哲学用語では、ギリシア語を使って「パトス」といいます。

宗教はもともと、音楽や芸術と一緒に発達してきました。宗教儀式には必ず楽器や歌を伴います。宗教的情動の部分は、人間がもともと持っている共鳴板みたいなものです。宗教的情動が振動しはじめると、自分のなかに眠っていたような宗教性が立ち上がってくる。でもこれだけでは、自分の歩む方向や自分の姿が見えにくくなります。

それに対して、知性や理性で理解していく方法を「ロゴス」といいます。「教え」の部分といえます

か。こちらも大事です。でも、こちらに偏ると理屈ばかりで心が振動してこない。私はもう一つあると思っています。それは習慣とか様式です。地域やおうちの習慣がありますでしょ。頂

き物はまずお仏壇にお供えするとか、年に一度はお寺の報恩講にお参りするとか、お参りのときは、門徒式章とお念珠を身に着けるとか。これは独特の様式です。これを「エトス」といいます。

宗教は信じるものというイメージをお持ちかもしれませんが、感じることも大事ですし、行う、何か伝統的な様式を私もしていく、この三つが、宗教を考える場合、大きな要素だと思います。ただこれだけでは、思っています。いずれにしても、今日はエモーションの部分にスポットライトが当たるという集いです。芸能の世界では、目指す最高のところは「一座建立」といわれます。

世阿弥が言い出しました。この場にいる全員が同じように心を振動させる。心の共振現象です。今日はまずこの場に身を置いて、自分の心と体をこの場にチューニングしていくようなイメージを持ってもらえたらと思います。こういうのは「場の宗教性」と考えられてまして、人類が本来持つる能力なんです。宗教に関心がないと思ってる方も、お寺の本堂やキリスト教の教会に身を置くと、何とも言えない気持ちになったりする。

基調講演

お寺でエモーション

「心の共振」と「場の宗教性」

東京のカルチャースクーでこの「場の宗教性」をテーマにお話ししたことがあるんです。電車の中ですとイヤホンで音楽聴いてるとか、スマホ触ると、場にシンクロする能力はきつと落ちると思えますよって。講座が終ったあと、その講座の担当の女性がやってきて、「私はわざとやってるんです」と言ってます。わざと場を感じないようにイヤホンしてると。そうではないと都市生活はできないんですと言われて、なるほど

どなあと思いました。都市生活というのは、無防備でいるとろんなものが侵入してきて傷付いてばかりになってしまいうので、自分というバリアを張っているというんですね。それが現代社会には必要だとしても、そのバリアを全面的に下ろして心を振動させる時間と場所があるかどうか、たぶん、分かれます。お寺の本堂に参って、仏さまの前でバリアを下ろして、全面的に振動するように、そのままの自分で過ごすというのは、きつと現代人にとってすごく重要なことではないかと思えます。共振するというのは、つながっているということ。人と人との関係だけではないですよ。私とあなたの関係以外に、私と仏さまという回路が開くだけで、きつと人生が変わると思えますし、社会や人間の見方が変わると思えますし、それは「生きる力」に直結すると思えます。

自分というバリアを下ろせる場所を

きつと人生が変わると思えますし、社会や人間の見方が変わると思えますし、それは「生きる力」に直結すると思えます。

秋晴れのもと60人が参拝

1777年(安永6)に再建された本堂



9月18、19日の2日間、本願寺鷺森別院岡崎支坊で恒例の報恩講が勤修され、約60人の門徒が参拝した。

この岡崎支坊は延宝6年(1678年)創建。本願寺第14世寂如上人(1651~1725)が、廃寺になった天台宗光明寺(和歌山市新魚町)の本堂を、現在地に移して鷺森別院の墓所とし、紀州の念仏者の納骨所と定めたのが始まり。以来、近隣の数力寺とこの門徒により大切に護持されてきた。

報恩講や永代経には和歌山東組の僧侶が出勤し、ごまぎし勤められる。お近くにお越しの際は、ぜひご参拝を。

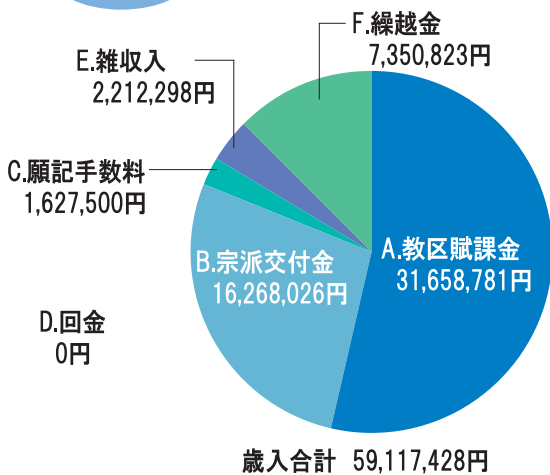
鷺森別院岡崎支坊で報恩講

和歌山東組の僧侶が出勤

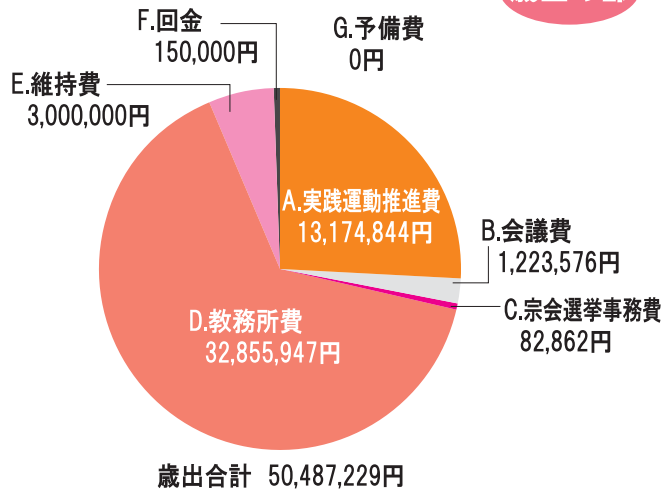
2016年度和歌山教区一般会計歳計決算

(2016年4月1日~2017年3月31日)

歳入の部



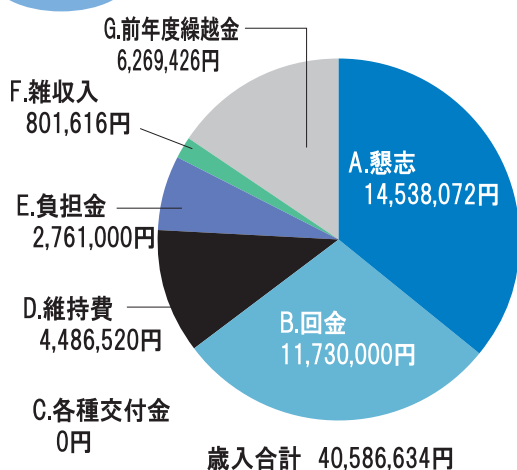
歳出の部



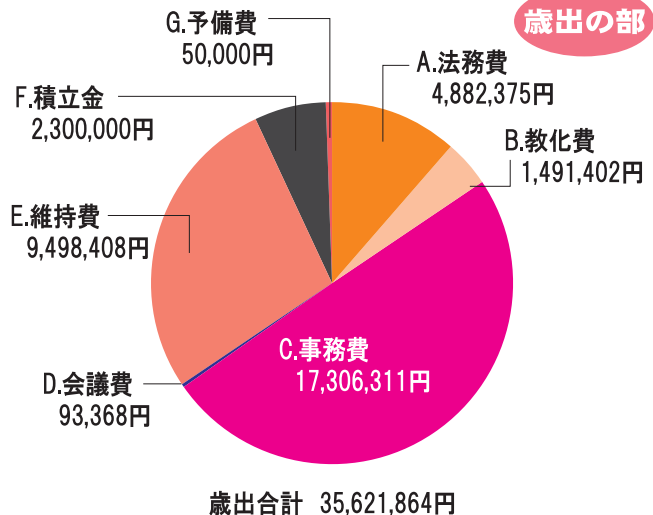
2016年度本願寺鷺森別院一般会計歳計決算

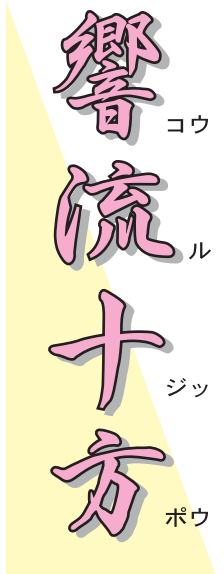
(2016年4月1日~2017年3月31日)

歳入の部



歳出の部





**10月下旬
と12月の催し**

本山

- 11月22～23日 秋の法要全
国門徒総追悼法要
- 12月20日 御煤払
- 12月30日 除夜会
- 11月17日 少年連盟委員会
(鷺森別院)
- 11月24日 寺族女性会集い
(鷺森別院)
- 11月25日 門徒総代会集い
(鷺森別院)
- 11月26日 仏教壮年会連盟
集い(鷺森別院)
- 11月27日 仏教婦人会連盟
集い、社推協バザー、布教
団通夜布教(鷺森別院)
- 11月28日 門徒推進員連絡
協議会第3連区実践運動研
修会事前研修(鷺森別院)
- 12月1日 歳末助け合い街
頭募金(JR和歌山駅、市
駅前広場)
- 12月2日 勸式講習会(鷺
森別院)

和歌山教区

- 10月30日 近畿同朋運動推
進協議会寺族女性研修会
(ホテル日航奈良)
- 11月2日 第3連区門推代
表者会議(鷺森別院)
- 11月4日 勸式講習会(鷺
森別院)
- 11月7日 門徒総代会委員
会(鷺森別院)
- 11月8日 近畿地区寺族青
年軟式野球大会(大和郡山
市総合公園グラウンド)
- 11月10日 寺族女性会役員
会(鷺森別院)
- 11月15日 仏教婦人会連盟
清掃奉仕、門徒推進員連絡
協議会茶話会(鷺森別院)
- 11月17日 少年連盟委員会
(鷺森別院)
- 11月24日 寺族女性会集い
(鷺森別院)
- 11月25日 門徒総代会集い
(鷺森別院)
- 11月26日 仏教壮年会連盟
集い(鷺森別院)
- 11月27日 仏教婦人会連盟
集い、社推協バザー、布教
団通夜布教(鷺森別院)
- 11月28日 門徒推進員連絡
協議会第3連区実践運動研
修会事前研修(鷺森別院)
- 12月1日 歳末助け合い街
頭募金(JR和歌山駅、市
駅前広場)
- 12月2日 勸式講習会(鷺
森別院)

教区内各組

- 森別院**
- 12月9日 和歌山教区子ど
もの集い子ども報恩講
(鷺森別院)
- 12月13日 布教団連続法座
(鷺森別院)
- 12月15日 門徒推進員連絡
協議会茶話会(鷺森別院)
- 12月19日 ビハークラ和歌山
主催聞き方連続セミナー
(鷺森別院)
- 11月未定 仏教婦人会々々
ナ活動(鷺森別院)
- 12月16日 和歌山組・和歌
山東組合同人権啓発推進僧
侶研修会(鷺森別院)
- 12月未定 寺族婦人会報恩
講(未定)
- 12月未定 仏教婦人会々々
ナ活動(鷺森別院)
- 12月未定 子ども・若者ご
縁づくりキッズサンカ(鷺
森別院)
- 和歌山組**
- 10月23日 仏教婦人会連盟
報恩講(本弘寺)
- 10月未定 仏教婦人会々々
ナ活動(鷺森別院)
- 11月4日 第7期門徒推進
員養成連続研修会④(鷺森
別院)
- 11月9日 仏教婦人会連盟
研修会・公開講座(鷺森別
院)
- 11月11日 門徒総代会・仏
教壮年会連盟報恩講(善能
寺)
- 11月20～21日 第8回念仏
奉仕団(本願寺)
- 和歌山西組**
- 10月25日 寺族婦人会例会
(西住寺)
- 11月12日 第17期門徒推進
員養成連続研修会④(安楽
寺)
- 12月2日 組内会、組実践
運動人権啓発推進僧侶研修
会(法専寺)
- 和歌山北組**
- 10月28日 第12期連研ス
タッフ会議⑨(慶圓寺)
- 11月18日 第12期門徒推進
員養成連続研修会⑨(照福寺)
- 12月未定 寺族女性会親睦
会(未定)
- 加茂組**
- 10月28日 第15期門徒推進
員養成連続研修会⑫(徳心寺)
- 12月10日 坊守会(真教寺)
- 12月未定 住職・寺族研修
会、懇親会(浄満寺)
- 海南組**
- 11月18日 第3期門徒推進
員養成連続研修会⑦(西専
寺)
- 12月3日 仏教婦人会・寺
族女性会合同研修会(遍照
寺)
- 12月5日 組実践運動人権
啓発推進僧侶・寺族研修会
(了賢寺)
- 12月10日 門徒総代会・仏
教壮年会合同研修会(了賢
寺)
- 海草組**
- 11月4日 「御同朋の社会
をめざす運動」(実践運動
推進協議会(未定))
- 12月2日 組内会(報徳寺)
- 伊那組**
- 11月未定 小委員会(かつ
らぎ・極楽寺)
- 12月未定 組内会(未定)
- 有賀組**
- 12月9日 第4回組内会、
僧侶研修会(専念寺)
- 有田北組**
- 12月23日 僧侶・寺族研修
会(未定)
- 12月26日 「みかん講」進
納式(西明寺)
- 日高組**
- 12月10日 真宗法座、第10
期門徒推進員養成連続研修
会開講式(未定)
- 12月16日 組内会(即生寺)
- 御坊組**
- 11月29～30日 総代会念仏
奉仕団(本願寺)
- 12月26日 組実践運動僧侶
研修会、組内会、忘年会(日
高別院)

聴き方連続セミナー開催

～人の話を聴けると、心ゆたかになれるかも!?～

全5回

- 2017年(平成29)
第1回 12月19日(火)
- 2018年(平成30)
第2回 1月19日(金)
- 第3回 1月31日(水)
- 第4回 2月13日(火)
- 第5回 2月27日(火)

講師

竹本了悟さん 他メンバーの方
NPO法人京都自死・自殺相談センター

時間 13:00～16:30

会場 本願寺鷺森別院
(和歌山市鷺森1番地)

募集人数

20名(先着)

※基本的に5回参加出来る方

受講料 全5回5,000円

(初回一括納入)

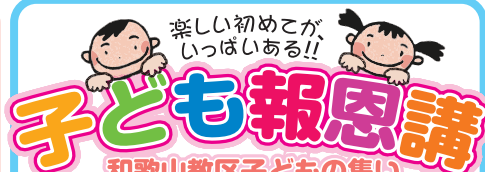
《家族や友人、大切な人の話が上手に聴けたらいいのに》と
思っているあなたにおススメの講座です。あなたのまわりを見
渡すと、好かれているのは聴き上手の方ではないでしょうか。
家庭や職場も、あらゆる人間関係で聴き上手は得をします。

「でもそれって結局、性格でしょ?」「自分ももっと社交的な
性格だったらなあ...」。もしかするとそう思われるかもしれま
せん。でも実は、聴き方には一定のコツがあり、誰でも聴く力
をつけることは可能なのです。

日頃から対人支援の活動を行うベテランスタッフによる聴き
方講座を開きます。小手先のテクニックではなく、一生役立つ
聴き方の姿勢が学べます。はじめての方を対象にしております
ので、お気軽にご参加ください。

お問い合わせは、ビハーク和歌山まで

和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 ☎(073)422-4677



2017.12.9 土

10:30▶15:00

本願寺鷺森別院

和歌山市鷺森1番地

詳細は後日お知らせいたします。

和歌山教区 僧侶・寺族研修会

2018(平成30)年
1月28日(日)

本願寺鷺森別院

講師には森田眞円さん(本願寺
派勤学)、藤尾まさよさん(非營
利団体崇仁発信実行委員会代表)
をお招きします。

詳細は後日お知らせいたします

教師

6月

川端弓子(有田南組教覚寺)

8月

栗本滋博(和歌山西組法専
寺)

横出頭悟(和歌山北組教願
寺)

敬 弔

上西貞子(日高組念興寺前
坊守) 6月21日

三谷研水(有田北組安樂寺
前任職) 7月16日

笠井照導(有賀組照圓寺前
任職) 7月19日

稲垣トシエ(御坊組長樂寺
寺)

衆徒) 7月31日

榎 正博(御坊組明應寺衆
徒) 8月19日

藤岡啓子(有賀組専念寺前
坊守) 8月25日

ご生前のご活躍ご尽力に
感謝申し上げます、謹んで敬弔
の意を表します。

鷺森別院の催し

報恩講

11月24日から28日の5日
間、報恩講が勤修される。

27日までは、毎座午後1時
30分からお勤め、2時頃か
ら季平博昭師(尾道市美ノ
郷町・法光寺)の法話。28
日は午前10時からお勤め、
引き続き法話。27日は、正

午から本堂で、社推協主催
のチャリティバザー。同日
午後7時から午後11時まで、
通夜布教が行われる。この
報恩講にあわせて各団体が
午前中に集いを開催する。

24日は寺族女性会、25日は
門徒総代会、26日は仏教壮
年会、27日は仏教婦人会。

■常例法座

10月15～16日、平野正信

偈をお勤め、引き続き法話
を聞く。2日は、午後1時
30分から正信偈をお勤めし、
御伝鈔拝読。その後、午後
4時ごろまで法話を聞く。

3日は、午前10時から御坊
組仏教婦人会連盟研修会が
行われ、その後バザーが開
催される。午後1時30分か
ら正信念仏偈をお勤めし、

引き続き輪番が御俗姓拝読。
その後、午後3時30分頃ま
で法話を聞く。

■除夜会

12月31日、午後11時30分
から本堂で讚仏偈をお勤め
し、梵鐘を撞く。

(本願寺日高別院 御坊市
御坊100 電話0738
122-0518)

3日間、報恩講が勤修され
る。布教使は蓮谷啓介師(大
分市里・妙蓮寺)。1日は
午後1時15分から御坊幼稚
園園児、保護者の参拝。園
児らの献灯献花に続き正信

報恩講

12月1日から3日までの

日高別院の催し

園児、保護者の参拝。園

児らの献灯献花に続き正信

報恩講

つれもて 聴こら

専如ご門主『伝灯奉告法要御満座の消息』を拝読いたしますと、南無阿弥陀仏

深水健司

に生かされている念仏者にふさわしい日常生活の歩みを勧められています。

即如前門さまの『親鸞聖人750回大遠忌法要御満座を機縁として』「新たな始まり」を期する消息」から、「凡夫の身でなすことは不十分不完全であると自覚しつつ、それでも「世のなか安穩なれ、仏法ひろまれ」と精一杯精進させていただきましよう」と引用され、さらに、伝灯奉告法要の初日のご親教「念仏者の生き方」に詳しく述べたと記さ

れています。

その「念仏者の生き方」の中で専如ご門主は、「私たちは阿弥陀如来のご本願を聞かせていただくことで、自分本位にしか生きられない無明の存在であることに気づかされ、できる限りの身を慎み、言葉を慎んで、少しずつでも煩惱を克服する生き方へとつくり変えられていくのです」とご教示くださっています。

ご門主の「念仏者の生き方」を頂いて

「自分自身のあり方としては、欲を少なくして足ることを知る『少欲知足』」、



「他者に対しては、穏やかな顔と優しい言葉で接する『和顔愛語』」という生き方を例として挙げられています。

阿弥陀如来は、私の生き方の善しあしを見て救われるのでは決してありません。たとえあなたがどのような

こらえながら生活していても、どのようなのちの終わり方であっても、必ず浄土に生まれさせて仏にするから何も心配いらぬよ、南無阿弥陀仏の名号となつて常に寄り添い、光明となつてこの私を見捨てることなく、常に包んでくだ

自らは「少欲知足」 周りには「和顔愛語」

生き方でも、どのような思いを抱えてどれだけ心が沈んでいても、どれほど涙を

さつておられます。無明煩惱が盛んである私たちが、阿弥陀如来の光明

如来は、このような私をそのままお救いください。その救いを頂いたとき、仏

を見ることはできません。しかし、見えないからなのではなく、阿弥陀如来は今まさに私に至り届いて包み育んでくださっておられます。親鸞聖人は『高僧和讃』に「煩惱にまなごさへられて 撮取の光明みされども 大悲ものうきことなくて つねにわが身をてらすなり(『註釈版聖典』502頁)」と頭かにされています。

さまが毒だと教えてくださった自分本位の生き方をあえて好むでしょうか。

救いに生き方は問われませんが、「念仏者の生き方」は、「救いの中にある私が、いったいどのような生活をしているのでしょうか」という専如ご門主からの問いかけではないでしょうか。念仏者として人生をどのように歩んでおられますか、と問われているのではないのでしょうか。

私はこの問いかけを頂いて、自分自身の姿が「和顔愛語」にはほど遠いことに気付かされ、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏とお念仏を申しつつ、精いっぱい精進しなければならぬと改めて感じました。

『伝灯奉告法要御満座の消息』を頂き、今まさに念仏者としての自分自身の歩み方を深く考える大切な機会だと思えます。

(愛媛県越智郡上島町・太平寺) 9月11日の伝灯奉告法要御満座のご消息披露式典 特命布教より